

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 10 月 31 日(2022.10.31)

【公開番号】特開 2021-159457(P2021-159457A)

【公開日】令和 3 年 10 月 11 日(2021.10.11)

【年通号数】公開・登録公報 2021-049

【出願番号】特願 2020-65579(P2020-65579)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 10 月 21 日(2022.10.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

始動口への入球に基づいて図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示の結果として大当り図柄が停止表示されることで大当り状態に制御可能な遊技機において、

前記大当り状態の終了とは別条件が成立することに基づいて、前記大当り状態とは異なる特定状態に制御する特定状態制御手段と、

所定の演出制御を実行する演出制御手段と、

を備え、

30

前記特定状態に制御されているときに電断が発生して新たに電源投入された場合には、前記特定状態が継続されるとともに、該電断が発生する前に行われていた前記特定状態に対応する報知と同様の報知が実行可能とされる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

40

上記した目的を達成するために、請求項 1 に係る発明においては、

始動口への入球に基づいて図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示の結果として大当り図柄が停止表示されることで大当り状態に制御可能な遊技機において、

前記大当り状態の終了とは別条件が成立することに基づいて、前記大当り状態とは異なる特定状態に制御する特定状態制御手段と、

所定の演出制御を実行する演出制御手段と、

を備え、

前記特定状態に制御されているときに電断が発生して新たに電源投入された場合には、前記特定状態が継続されるとともに、該電断が発生する前に行われていた前記特定状態に対応する報知と同様の報知が実行可能とされる

50

ことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記構成では、始動口に遊技球が入球した場合に、該入球に関連した計数値を更新し、計数値が特定値になった場合と、図柄の変動表示の結果として大当り図柄とは異なる特定図柄が停止表示された場合等に特定状態に制御可能であるとともに、特定状態中に電断が発生して新たに電源投入された場合に、該電断が発生する前の特定状態に応じた演出に復帰可能とされることから、電断が発生した後においても、遊技状況を把握し難くなること  
がない。その結果、遊技興趣の低下を抑制することができる（例えば、段落 2291～2296 等の記載を参照）。

10

20

30

40

50